

令和5年度公益財団法人下松市文化振興財団事業計画書

1 令和5年度基本方針

本年度は、スターピアくだまつ開館30周年を迎えます。記念の年にふさわしい事業を展開し、広く市民の皆様には文化芸術の鑑賞機会の提供を図ります。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって約3年が経過し、その間、文化芸術の分野は多大なる影響を受けてきました。政府や自治体が発令した自粛要請に応じた公演の中止や延期、施設の利用中止が相次ぎ、市民の文化芸術の鑑賞機会の大幅な減少や文化活動が制限される等、文化の衰退に繋がりがねない状況となっています。この状況を打開するためにも、適切な感染予防対策を講じながら、文化芸術活動への参画の早期回復を図る必要があります。具体的には、文化会館を中心とした文化芸術活動が安全で安心に行えるよう、施設環境整備に取り組むとともに、文化芸術参加促進に繋がる施策（鑑賞料金の割引サービス、文化活動活性化への助成金制度、当財団との共催による事業展開、文化事業実施の際の会場費等の助成）を積極的に展開します。

次に、人口減少や少子高齢化による地域伝統芸能の継承者や文化団体の担い手不足は、本市に限らず全国的に大きな課題となっています。文化の継承者や将来の芸術家、さらには文化芸術の観客層を育成するため、早期の青少年への文化教育が必要と考えます。生の舞台芸術公演の鑑賞機会の提供や学校のカリキュラムにおける地域に根差した伝統芸能の体験機会の確保ができるよう、地域の文化団体の協力と関係各所との連動を図り、将来を担う子どもたちの誰もが文化芸術に触れることができる環境づくりに貢献します。

また、市民の誰もが文化芸術に親しむことができるよう、乳幼児、高齢者、障害者等への文化芸術の鑑賞機会の提供を目的とした訪問コンサートと市民の文化活動の発表及び参加の場の提供を目的としたハート・フロア事業（ハート・フロアコンサート、ワークショップ）は、新型コロナウイルス感染症の流行で停滞した文化芸術活動の復興や活性化を図る上で、効果の高い事業であることから、感染予防対策に配慮し、速やかな再開を目指します。

運営面においては、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、急速なデジタル化が推進される中、当財団においても、文化施設の利用予約・申請手続のオンライン化、電子チケットやキャッシュレス決済の導入の他、文化芸術作品の動画配信などデジタル技術を活用した事業展開を円滑・効率的に進めるため、引き続き研究に取り組みます。

また、長引くコロナ禍の影響による施設利用料の減収に加え、エネルギー価格や物価上昇が加速する中、これまで以上の経費節減への取組と、収支管理を徹底することで、財団運営の健全化に努めます。

さらに、施設の管理運営については、今後も安全面の向上とランニングコストの削減に配慮し、安全で安心な施設を提供できるよう、良好な環境

維持に努めます。

この度、当館同様に下松タウンセンター（キラル）も開設30周年を迎えるにあたり、これまでの商業と文化・健康の集積拠点から生活インフラ拠点施設へと展開を図るべく、下松タウンセンター活性化ビジョンが策定されました。この全国的にも希少かつ恵まれた複合施設としての機能を強化するため、構成する各社と協同・連携を図り、下松タウンセンター全体の賑わいの創出に努めます。商業施設の催事スペースを活用し、買い物をしながら、自然と文化芸術に触れる機会を提供することすることで、下松タウンセンターが文化の薫り高い、市民の憩いの場、魅力ある施設となるよう貢献します。

2 公益目的事業

(1) 主催公演等

市民文化の向上と文化の薫り高いまちづくりを基本理念に、市民が文化芸術に触れる機会を提供します。また、本市で活動する芸術文化団体や地域との相互連携を図るとともに、多種多様な事業を市民協働で実施します。

①文化芸術の鑑賞の機会を提供するコンサート等の開催

音楽、演劇、芸能等様々なジャンルの舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

○令和5年8月13日

『室内楽のひととき in スターピア』

○令和5年9月9日

『でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー』

○令和5年12月3日

『森永康夫ピアノリサイタル ～第7回ふるさとコンサート～』

○令和6年1月25日

『劇団四季ミュージカル クレイジー・フォー・ユー』

○日程未定

『スターピアくだまつ名曲シリーズ XVI 読売日本交響楽団演奏会』

②ハート・フロアでのミニコンサート等の開催

日常のわずかな時間でも市民の皆様に文化を感じていただけるよう、地域の文化団体によるミニコンサートを月1回程度開催し、気軽に鑑賞できる場を提供します。また、ハート・フロア出演団体を中心とした地域の文化団体による市内の保育園、幼稚園及び福祉施設等への訪問コンサートを実施します。さらに、アート展やワークショップの開催等、展示部門における発表の場としての活用を図ります。加えて、市内の保育園、幼稚園児等による作品展を開催します。

③青少年育成のための文化活動

舞台芸術を無料で鑑賞する機会やコンテスト等で自ら舞台に立つ機会を提供することにより、子どもたちの豊かな感性や創造力を育むとともに

に、青少年期から文化芸術に親しむ土壌作りに努めます。

○令和5年5月27日

『0才からのジャズコンサート』

ニューヨークで活躍するジャズピアニストによる親子で楽しめるジャズコンサート

○令和5年11月11日

『吹ダン! フェスティバル in スターピア season.6』

県内の高校生以下を対象とした吹奏楽とダンスをコラボしたフェスティバル

○日程未定

『令和5年度スターピアくだまつ青少年育成事業』

市内の小学生高学年を対象に、こころの劇場「劇団四季ミュージカル」の鑑賞会を無料で実施

○日程未定

『第6回親子で楽しむジャズコンサート』

ミュージック&ダンス親子の会によるジャズの演奏やダンス等、親子で楽しめるコンサート

④本物の楽器等芸術を体験する機会の提供

音楽をより身近に感じていただくため、大ホールのドイツ製スタインウェイピアノを自由に弾く会を開催します。また、舞台芸術の舞台裏を知る機会を提供するため、舞台設備の準備から操作までの体験ができる教室を開催します。

○令和5年8月20日

『スターピアくだまつ バックステージツアー2023』

○令和6年1月12日～14日

『第31回スタインウェイを弾く会』

(2) 文化団体等支援事業

市民の文化活動の活発化と発展を図るため、地域文化団体等が実施する文化振興活動を支援します。

① (公財) 美育文化協会の活動支援

○令和5年9月8日～12日

『第53回世界児童画展山口県展』

国内及び海外から応募された子どもたちの絵画作品の内、入選等の作品約300点を展示し、その会場利用料を助成

② 花岡歌舞伎の会の活動支援

○令和5年10月29日

『花岡歌舞伎35周年記念公演』

花岡歌舞伎の会が結成35周年を記念し公演を開催するにあたり、その会場利用料を助成

③下松市文化協会の活動支援

○令和5年11月18日～19日

『文化ジョイント2023 第40回下松市民美術文化展』

下松市美術文化展を展示ホールで開催し、その会場利用料を助成

④下松市吹奏楽団の活動支援

年間を通じて、下松市吹奏楽団の練習会場としてリハーサル室を確保し、その会場利用料を助成

(3) 芸術家（作家）活動支援事業

市内で活躍する芸術家（作家）の創作活動の発表に対する助成事業を実施します。

○令和5年9月中旬～下旬

『令和5年度芸術家（作家）活動支援事業』

公募により選考された芸術家（作家）の創作作品の展示会を展示ホールで開催し、その会場利用料を助成。昨年度、当事業は10回目の開催となりました。この事業を継続、活性化させるべく、複数名での応募を可能にするなど応募要件の見直しを行いました。今後は、助成内容の充実に向けた検討を行います。

(4) 施設貸与

地域住民の文化活動の場として、施設を貸与することにより地域文化の振興を図ります。また、財団自らが施設を利用し主催公演を実施することで、市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

(5) その他

自主文化事業の参加者の増加と財団事業の円滑な推進には、財団会員の増加が不可欠です。これまで以上に、会員特約施設との連携を強化し、会員特約施設による会員向けサービスの見直しや新たな特約施設獲得に努め、会員特典の更なる充実を図ります。また、県内の公立文化施設との連携を強化し、相互の公演のPRやチケット販売促進に努めます。この他、市民の声を自主文化事業の企画や運営に反映させるため、公演時にアンケートを実施します。

3 収益目的事業

施設の貸館事業を行うとともに施設利用者の利便性の向上を図るため、物品販売等の利用サービス事業を実施します。また、会員のつどいを開催し、会員サービスの充実を図るとともに、地域団体と共催で文化事業を実施することにより、地域住民へ文化芸術の鑑賞の機会を提供し、地域文化の振興を図ります。

これらの事業から得た収益は、公益目的事業のさらなる充実を図るために活用します。

(1) 文化施設貸与事業

文化施設の効率的な管理運営を図るため、公益目的外で地域の団体、個人等へ施設を貸与します。

(2) 会員のつどい及び共催事業

会員のための文化事業を開催し、無料招待で鑑賞の機会を提供します。また、地域団体と文化事業を共催することにより、地域住民へ鑑賞の機会を提供します。

○令和5年7月15日

『令和5年度会員のつどい

瀬崎明日香&マルモ・ササキ 情熱の弦楽デュオ』

スターピアくだまつの会員特典事業として実施

○令和5年11月23日

『第21回下松市中小企業勤労者フェスタ』

下松市中小企業勤労福祉協議会との共催により、歌謡ショーや漫談等の公演を実施

(3) 物品販売等事業

施設利用者の利便性を図るため、県内各地の公演チケットを受託販売するほか、文化事業に伴うCD、グッズ等の物品販売及び飲料サービス等を業者に委託し、手数料を徴収します。

4 その他

(1) 防災対策

災害発生時に、職員が迅速かつ適切な対応ができるように保健センターと共同で防災訓練を実施します。訓練により職員一人ひとりが的確な状況判断と行動ができるよう防災スキルの向上を図ります。さらに、利用者や来館者にも防災意識を高めていただくため、主催者との事前打合せの際、災害時の対応について協議するとともに利用者向けの防災・危機管理マニュアルを整備し、啓発に努めます。

近年、地震や台風、豪雨等による自然災害の多発に加え、新型コロナウイルス等の感染症の蔓延に対し、公の施設として市民の安全を確保するため、緊急避難所の開設や感染予防について、関係機関と連携し、防災対策を講じます。

また、下松タウンセンターを構成する各団体と共同で防災訓練を実施し、その反省点を基に、災害発生時の連携や連絡網についてのマニュアルの更新を行うことで、下松タウンセンター自主防災組織のさらなる強化を図ります。

このほか、不特定多数の方が利用する施設である文化会館が、テロの標的となることを想定したテロ対策訓練や不審者侵入時の対応訓練を下松警察署と共同で計画、実施します。

(2) 運営改善

国内で新型コロナウイルス感染症の流行が始まって約3年が経過し、社会全体が感染拡大防止と経済活動の活性化の両立を図りながら、ウィズコロナに向けた新たな段階へと移行を進めています。このような状況下で、国や業種別ガイドラインが示す感染防止対策も緩和傾向にあり、イベント開催時や施設貸与における対策関連の経費や人的負担も軽減されつつあります。引き続き、県内における感染状況を注視しながら、事業内容に応じた適切かつ有効な感染防止対策や運営方法を積極的に取り入れ、安全安心に配慮した施設利用の促進と文化活動の推進に努めます。

利用率向上を図るため、ホームページ等を活用し、施設のPRに努めます。また、会場利用料及びチケットの支払方法について、消費市場において急速にサービス規模が拡大し、普及しているキャッシュレス決済の導入に向けて準備を進めます。

昨年度、既に開設していたツイッターに加え、ユーチューブとインスタグラムの運用を開始しました。公演前のリハーサル風景や展示会の様子等を写真や動画で配信し、様々な手段による情報発信を試みました。今後も、このようなソーシャルネットワークサービスを有効に活用し、とりわけ若い世代への文化芸術活動の参加意欲向上へ繋がるよう取り組みます。

(3) 施設環境保全

開館から30年が経過する中、施設・設備の改修工事については、計画的に進めております。平成30年3月から8月末までにかけて実施した大規模改修工事により、老朽化対策工事は概ね完了したところではありますが、今後も、ピアノ4台のオーバーホールを始め、経年劣化への対応が急務となる舞台照明設備及び音響設備の2回目のリプレイスなど、市民が常に安全で安心して施設設備を利用できるよう良好な施設環境維持に努めるため、先を見据えた修繕計画を下松市へ定期的に提案していきます。

(4) 職員研修

公立文化施設協会や文化庁等が実施する各種研修会への積極的な参加を通じて専門性を高め、文化芸術を支える担い手の育成に努めます。

また、職場内においても業務の遂行に必要な専門的知識・技術の習得や接遇研修を実施し、職員一人ひとりの成長を促し、実践力向上を図り組織力強化に努めます。

市民に親しまれ、気軽に利用できる身近な文化会館を目指して、親切かつ丁寧な対応を心掛けるよう職員の意識向上に努めます。

スターピアくだまつ開館 30 周年記念
令和 5 年度公益財団法人下松市文化振興財団
自主文化事業計画

開催日	事業・行事名	内 容
5/27(土)	0才からのジャズコンサート	ニューヨークで活躍するピアニスト、クニ三上による赤ちゃんから大人まで楽しめるジャズコンサート オフィスヨコタとの共催
7/15(土)	令和5年度会員のつどい 瀬崎明日香&マルモ・ササキ 情熱の弦楽デュオ	スターピアくだまつの会員特典事業 国内外で活躍するヴァイオリニスト、瀬崎明日香とソロ及び室内楽奏者として世界各地で幅広い演奏活動を行うチェリスト、マルモ・ササキのコンサート スターピア会員無料招待
8/13(日)	室内楽のひとつ in スターピア	下松市出身のヴァイオリニスト、相本朋子を中心とした室内楽のコンサート 室内楽のひとつ in スターピア実行委員会との共催
8/20(日)	スターピアくだまつ バックステージツアー2023	スターピアくだまつの舞台業務を体験できる教室
9/8(金) ~12(火)	第53回世界児童画展山口県展	文化団体等支援事業の一環として、(公財) 美育文化協会の活動を支援。国内及び海外約30カ国から応募された子どもたちの絵画作品約10万点の内、入選等の作品約300点を展示
9/9(土)	でんじろう先生のドキドキわくわく サイエンスショー	様々な実験を通じて分かりやすく科学の魅力を伝えるサイエンスプロデューサー、米村でんじろうのサイエンスショー yab 山口朝日放送との共催
9月中旬 ~下旬	令和5年度 芸術家(作家)活動支援事業	地域文化の振興と活性化を図るため、公募により選考された芸術家(作家)の創作活動の発表に対して助成、支援するとともに、その作品を広く市民の皆様に鑑賞いただくことで、市民の文化向上に資することを目的とした事業 芸術家(作家)の展示会を展示ホールにおいて開催
10/29(日)	花岡歌舞伎 35周年記念公演	文化団体等支援事業の一環として、花岡歌舞伎の会の活動を支援。結成35周年記念公演を大ホールにおいて開催 花岡歌舞伎の会との共催
11/11(土)	吹ダン! フェスティバル in スターピア season. 6	山口県内の高校生以下を対象とした「吹奏楽」と「ダンス」をコラボしたフェスティバル KRY 山口放送との共催
11/18(土) ~19(日)	文化ジョイント 2023 第40回下松市民美術文化展	文化団体等支援事業の一環として、下松市文化協会の活動を支援。下松市文化協会美術連盟との共催により「下松市民美術文化展」を展示ホールにおいて開催

開催日	事業・行事名	内 容
11/23(木)	第 21 回 下松市中小企業勤労者フェスタ	下松市中小企業勤労福祉協議会との共催による公演
12/3(日)	森永康夫ピアノリサイタル ～第 7 回ふるさとコンサート～	下松市出身のピアニスト、森永康夫のピアノリサイタル 森永康夫ピアノリサイタル実行委員会との共催
1/12(金) ～14(日)	第 31 回スタインウェイを弾く会	開館以来実施している大ホールスタインウェイピアノを一般に開放し、自由に弾いていただく会
1/25(木)	劇団四季ミュージカル クレイジー・フォー・ユー	劇団四季の代表作で、タップダンスをはじめとするダンスと笑いあふれるラブ・コメディミュージカル KRY 山口放送との共催
日程未定	令和 5 年度スターピアくだまつ 青少年育成事業 劇団四季 こころの劇場	未来を担う子ども達の豊かな情操を育むため、市内の小学生高学年児童を招待し、劇団四季のミュージカル鑑賞会を開催
日程未定	第 6 回親子で楽しむジャズコンサート	バンドの演奏や朗読、ダンスなど親子で楽しめるジャズコンサート ミュージック & ダンス親子の会との共催
日程未定	スターピアくだまつ名曲シリーズ XVI 読売日本交響楽団演奏会	日本を代表するオーケストラ読売日本交響楽団の 5 年ぶり 16 回目の演奏会
随 時	その他事業	ポップス系のコンサートをはじめとする、幅広い年齢層に楽しんでいただける催物を開催予定
年 間	ハート・フロアー事業 ※ハート・フロアーコンサート *市内保育園、幼稚園児の作品展示 *文化芸術体験ワークショップ	ハート・フロアーにおいて、定期的にフロアーコンサートの開催や、市内の保育園、幼稚園児等の作品を展示。また、文化協会加盟団体等による文化芸術体験ワークショップを実施
年 間	アウトリーチ事業 *訪問コンサート	地域文化団体等による市内の保育園、幼稚園及び福祉施設等への訪問コンサートを実施
年 間	下松市吹奏楽団活動支援	文化団体等支援事業の一環として、下松市吹奏楽団の活動を支援 リハーサル室の会場利用料を助成

※ハート・フロアーコンサート及びアウトリーチ事業（訪問コンサート）については、政府や山口県が示す新型コロナウイルス感染症対策の方針を踏まえ、再開します。